

ぎんずな



蓮田・白岡地方ユネスコ協会

第13回地域文化遺産スタディ

わが町を知ろう！ 江戸期の蓮田・白岡

「関東郡代伊奈一族の活躍と功績」

平成29年2月18日(土) 於：はびすしらおか

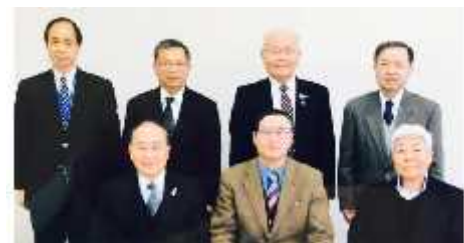


伊奈忠次の銅像

当日は発達した低気圧で風が強く心配したが、講演開始時には109名の満席状況となった。

講師は伊奈氏一族の第一人者でありNHKでもお馴染みの、高崎経済大学名誉教授の和泉清司先生にお願いしました。主催者を代表し田村会長から開催挨拶の後、ご来賓として中野蓮田市長、秋葉白岡副市長、大島伊奈町町長からご祝辞を賜り山口蓮田市議会議長、長島白岡市教育長もご出席頂きました。

講演内容…伊奈忠次は徳川家康の関東入国に伴い鴻巣、小室で1万石を与えられ小室(伊奈町)に陣屋を築いた。この頃の関東は大小の河川が入り組んでおり、たびたび洪水に見舞われていた。忠次は自ら湿地帯に身を置き、氾濫の元となる河川の改修や開削、治水対策、灌漑工事など、幕府創成期に重要な関東支配の基礎を作っていた。代官頭になってからは全国の代官支配にあたり、河川の開削、検知、新田開発、年貢收取等、多様な農政や地方支配を実施している、代表的なものが東遷と自らの伊奈備前守から命名された備前掘である。東遷は羽生、会の川



前列左から秋葉白岡市副市長、和泉講師、田村会長
後列左から飯島、長島白岡教育長、大島伊奈町長、中野蓮田市長

から東京湾に流れ込む古利根川を、川俣から銚子、太平洋へと東に流れを変えた大規模の開削であり、備前掘は本庄、深谷、熊谷、行田、羽生等県北の23Kmに及ぶ開削で、現在も灌漑用水として利用されている。このように江戸初期の農政を大所・高所から考察し関東北部から江戸までの、壮大な事業は後の関東郡代伊奈一族へと引き継がれている。蓮田、白岡、伊奈を含む埼玉東部地域も洪水被害も少なくなり農民の生活安定に寄与している。

現在の伊奈町の命名は、郷土の先駆者である「伊奈備前守忠次」に由来している。(飯島記)



前列左から平賀、飯島、田村会長、中野市長、榎田課長
後列左から雲見、杉原、齋藤議員、江口、松沢、熊倉

2017年度総会

10周年記念事業・関東プロ研究会を迎える準備等

活動方針の発表

総会は、4月22日(土)午後2時より蓮田市立図書館で開催しました(出席者は会員12名、委任状21名)。なお、総合司会は、飯島副会長が務めました。議事に先立ち、田村会長より、日頃の活動に対する会員各位のご支援・協力に対して謝意を述べ、今年当ユ協が設立して9年を経過し、来年3月には設立10周年を迎えるため、通常活動に無理のない範囲で10周年記念事業を検討していく意向が表明された。また、当地域においても少子高齢化に直面する中で広く市民にボランティア活動の存在意義を

理解して頂くことの難しさがある環境下で、ユネスコ憲章の理念を実現するために、2017年度の活動方針が示された。息の長いNGO活動を維持していくためには、「財政基盤、会員構成、社会情勢等」を常に分析して適合した活動を目指し、事業としては、これまでの4事業(「国際文化スタディ」、「地域文化遺産スタディ」、「文化遺産めぐり」、「世界寺子屋運動」)を継続実施する。ただし、それらを推進していく上で、①更なる会員確保②活動の軸となる人材確保③財政基盤の強化④地方自治体や教育委員会・学校及び他の団体等との連携と協働が課題であるとして、理解を求めました。また、2年後の2019年には当ユ協が主管となって当地において関東ブロックユネスコ活動研究会を開催予定であることが紹介された。

- 次に江口理事を議長に選出して、第1号議案より第5号議案まで順次審議し、全て承認を得て、総会を閉会しました(2017年度事業計画と役員は別掲)。
- なお、会員として出席された中野蓮田市長より、8年前の設立以降の当ユ協の活動に広く市民が参加しており、今後の活動を通じて市民の輪が波紋のように浸透することを期待したいとの激励の言葉をいただきました。
- 総会に続き、昨年度蓮田市内の二つのユネスコ認定校(蓮田市立中央小学校、蓮田市立中学校)の小熊校長、石川校長の参加も得て、今後の活動全般及び学校との連携等につき意見・情報交換を行いました。
- ★ 理事 ★
 - 会長 … 田村勝彦
 - 副会長 … 飯島 剛
 - 副会長 … 江口 保
 - 副会長 … 熊倉 晃
 - 事務局主幹 … 杉原茂
 - 事務局 … 雲見昌弘
 - 事務局 … 平賀栄美子
 - 監事 … 齋藤恵美子

第16回 文化遺産めぐり

造幣局さいたま支局見学

「わが国の貨幣の歴史を知る」



博物館内

室)と併せてオープンしました。製造工程は女性ガイドさんにより身近に使っている貨幣の出来る迄、又勲章の実物の多くを説明して下さいました。

500円 硬貨
表・裏



500円硬貨のウラ側(500と書き込まれた面)を上にして少しずつ外側に傾けると、00の中に小さく500円、又内側に傾けると一本の縦の線が見えます。また500円硬貨の円周には斜めのギザギザがあります。

これらは世界ではじめての偽造防止技術だそうです。(皆さん確認してみてください。)(江口 記)

貨幣では通常の6種類の他記念貨幣、未使用を取めたプルーフセットも製造・販売、博物館(展示

参加者の声

短時間ででしたが、いろいろ勉強になりました。今回の文化遺産めぐりは、目から鱗のような新たな発見がありました。特段の予備知識を持たずいつも、その後の懇親会のビールを楽しみに参加致しました。博物館に入るといきなり博物館特有のミュージアム・ショップがあり、ショップの呼称は「ミントショップ」でした。何故、ミントなのかと自問しながらガイドの案内で館内を見て回り、案内説明文の英文表記を眺めていたら、なんとそこに「Mint」という単語が並び、どうやら造幣局のことを「Mint」と言うらしいことに気付きました。また、造幣局の英文表記に続き、勲章、七宝焼、という普段使い慣れている言葉の英語表記も勉強しました。



参加者記念撮影

はくれぐれも気を付けましょう。(福地会員 記)

第68回日本ユネスコ協会連盟定時総会報告

(大手町・朝日生命ビル27階にて)開催

開催日時:2017年6月17日(土)14時30分

総会は議決権者657名(個人・団体・維持会員含む)に対して出席者109名・委任状273名で定足数329名を満たし成立。物故者への感謝・黙祷から始まった。松田会長挨拶・新加盟・衣川ユネスコ協会(岩手)の紹介・挨拶があった。

議題に移り第1号議案 2016年度事業報告 承認、第2号議案 理事・監事及び評議員の承認があった。

連盟会長・理事長の交代が非公式に発表された。(後日、大橋新会長・鈴木新理事長と判明) 第3号議案 「民間ユネスコ運動70周年ビジョ

ン」は2017年〜2026年までの活動・方向を策定したもので

1. 策定の趣旨目標を「教育分野に力を注ぎ、取り組む」との提示。 2. ビジョン・ミッションと重点目標「使命と責務」は

(1)「平和な世界の構築は命を尊び、紛争の無い世界、核兵器の無い世界を希求し、草の根から積極的に「平和の文化」の構築をすすめるとした。(2)持続可能な社会の推進はESDを生涯学習の重要な柱と位置づける。達成する為には17の「持続可能な開発目標」(略)を於いて活動を行うとした。

(3)その重点目標と方向性は平和な社会の実現・ESDの推進・誰も置き去りにしない地域社会の構築・自然災害発生後の教育支援とした。(4)組織運営の強化即ち諸団体と連携強化を諮り、組織力の強化、財務基盤強化を図る。(5)広報強化をはかる。(6)PDCAの実施(PLAN計画・DO実行・CHECK評価・ACT改善)の4段階を繰り返して継続的な業務改善を図る。

第4号議案は、総会運営規定の変更を承認。最後に仙台ユ協・中村会長から挨拶があり閉会となった。

日本ユネスコ運動

70周年記念全国大会in仙台

発祥の地、仙台から世界へ 大会は世界22か国、45都道府県から参加があり2017年7月15、16日の2日間 仙台国際センターにて開催された。



大会風景

ノーベル平和賞受賞のラジェンドラ・クマール・バチャウリ氏による特別講演では「気候変動の危機感から現状、問題点等を探り、パリ協定遵守の為COP21で示されSDGs(持続可能な開発目標)の必要性、それに挑

予告

第11回 国際文化スタディ



武貞講師

「地政学から見た東アジア・日本の果たす役割」講師・武貞秀士先生、現在拓殖大学特任教授、元防衛庁総括研究官、韓国延世大学国際部教授(日本初の専任教授)講演内容.. 激動の最中にある東アジアを地政学的な観点から紐解き、日中韓・北朝鮮・露と如何に接していけば良いか... 日本はどうする... 12月以降で日程・場所を調整中。皆様のご来場をお待ちします。

戦する若者の育成、参加を説いた。

青年部及高校生によるパネルディスカッションでは大震災等、過去の出来事が風化していく中、真実の追究、知恵、学問を習得し自から事態について判断出来る知識を持つ事が必要との発表があった。青年部による仙台宣言では「多様な平和な目を向けユネスコ精神を守り未来へ持続させてゆく」の宣言があり、連盟からは70周年ビジョンが発表された。

Peace for Tomorrow 広げよう平和の心、ミッションとして1、平和な世界の構築。 2、持続可能な社会の推進、重点目標では17のSDGsの目標が提示された。

平和の為、多様な危機を乗り越えるために、何が出来るか! 何をすべきか! 若い仲間と経験豊かな会員と一緒に活動出来そうな意義ある大会であった。 来年の全国大会は函館市にて開催となります。



大会出席者 飯島副、田村会長、江口副

第16回 文化遺産めぐり

造幣局さいたま支局見学

室)と併せてオープンしました。製造工程は女性ガイドさんにより身近に使っている貨幣の出来る迄、又勲章の実物の多くを説明して下さいました。

500円 硬貨
表・裏



500円硬貨のウラ側(500と書き込まれた面)を上にして少しずつ外側に傾けると、00の中に小さく500円、又内側に傾けると一本の縦の線が見えます。また500円硬貨の円周には斜めのギザギザがあります。

これらは世界ではじめての偽造防止技術だそうです。(皆さん確認してみてください。)(江口 記)

貨幣では通常の6種類の他記念貨幣、未使用を取めたプルーフセットも製造・販売、博物館(展示

会員紹介

中野 和信

(なかの かずのぶ)



①中野信和(なかの かずのぶ)

②埼玉県蓮田市出身、生まれも育ちも蓮田市です。昭和43年に当時の蓮田町役場に就職し平成13年55歳で退職。その後、平成15年から蓮田市議会議員、平成18年から蓮田市長として3期目を務めています。

③当ユネスコ協会との出会いは当協会長の田村会長との出会いからです。設立時、蓮田・白岡地方ユネスコ協会を

石崎 光夫

(いしざき みつお)



①石崎 光夫(いしざきみつお)

②出身地・福島県南相馬市、京都に移り住んで15年。蓮田市に住んでいたところが懐かしく思われる今日この頃

矢上 匡考

(やがみ まさたか)



①矢上匡考(やがみまさたか)(82歳)

②福島県白河市 ③仕事は大型店舗を持つ不特定多数のお客様を対象に商いを営んできました。現役の時は活動を目的は違いますが「ユニセフ」に僅かばかりですが協力をさせて頂きました。

退職後暫くたって入会いたしました。体調が悪くまったく活動しておりません。④抱負は、地球上の人々に「平和」を願う。「人々が持つ異文化の交流」をはかりたい。

